



埼玉カンピオーネ

Campione

| | |
|--------------------|------------------------------------|
| ニュースレター 2019 シーズン版 | 2019年度 活動報告 |
| 2020年3月 発行 | 発行：埼玉ソーシャルフットボール協会 通称『埼玉カンピオーネ』 |

元号が令和となった2019-2020シーズン。当協会では「フットボールを通じて、誰もが活躍できる共生社会づくりに貢献する」を理念に3年間に取組む具体的な目標を掲げることにしました。

Sリーグは、大型台風の影響により4日程が急きょ3日程となりましたが、実施方法を工夫することによって加盟する8チームによるよりエキサイティングな戦いをみることができました。

また、埼玉県代表として出場した選抜チームは関東大会で準優勝し、6年ぶりに全国大会に出場。多くの方から温かな寄付と応援をいただきました。さらには、幅広い人たちとの繋がりを深めるための交流企画では「はっとりフットサル」と称して、スポンサー企業を応援すべく学習会なども併せて行いました。

今後も、当会では「かかわる全ての人にとって感動と興奮を与えているか?」、「さまざまな人たちの協働を生み出しているか?」を活動の中核に据えて、皆様とともに様々なチャレンジをしていきます。



◆◆2019シーズン・全体活動報告◆◆

精神障がい者を対象としたフットサル大会の企画・運営を中心に様々な活動を行ってまいりました。

| 開催日 | 主催等 | 内容 |
|----------------|------|--|
| 2019年4月29日(月祝) | 主催 | サルさぼカップ2019 講演会 会場：西大宮スポーツパーク 参加者：89名 |
| 5月6日(月祝) | 運営協力 | 第12回スマイルサッカー大会 精神障がい者の部 会場：レッズランド(さいたま市) 参加6チーム |
| 7月13日(土) | 参加 | 第4回 ソーシャルフットボール全国大会 関東予選 会場：エスフォルタ八王子(八王子市) |
| 9月7日(土)~8日(日) | 参加 | 第4回 ソーシャルフットボール全国大会 会場：丸善インテックアリーナ(大阪市) |
| 11月16日(土) | 主催 | Sリーグ2019 第1日程 会場：春日部市立庄和体育館(春日部市) 参加者：8チーム |
| 11月30日(日) | 主催 | Sリーグ2019 第2日程 会場：春日部市立庄和体育館(春日部市) 参加者：8チーム |
| 12月15日(日) | 主催 | Sリーグ2019 第3日程 会場：春日部市立庄和体育館(春日部市) 参加者：8チーム |
| 2020年4月5日(土) | 主催 | 2020シーズン 総会 → 新型コロナウイルスの影響拡大に伴い、中止にしました |

◆◆Sリーグ2019シーズン（埼玉県精神障がい者フットサルリーグ）◆◆

今シーズンも様々なドラマが生まれたSリーグとなりました。

当初は第4日程で実施される予定でしたが、関東圏台風直撃による影響で、急遽全3日程でシーズンを行うことになりました。

日程の変更に伴い、当初予定していた総当たり戦二回りでなく、総当たり戦からの決勝トーナメントと敢闘トーナメントに分かれて順位を競う方法を実施する運びとなりました。

～SSFAが3年間で目指す活動の成果目標について～

- ① 大会の県内各地開催を実現し、競技人口を2倍に増やします。
- ② 当事者の活動協力者を2倍に増やします。
- ③ 選手・支援者・ボランティア等の体験談を継続的に発信し、活動などを幅広く周知します。
- ④ 観戦者や応援者、サポーター、ボランティアなど多様な活動関与の仕組みを創り、助成金に頼らない運営を目指します。

成果目標達成に向けた取り組みにおいて、残念ながら調整がつかずに来期に見送ったものがあれば、実践し試みることもできたものもあり、貴重なシーズンであったと振り返ります。

大会の各地開催については、市議会選挙期間と重なったこともあり、会場確保が困難となり、全日程とも春日部市立庄和体育館での開催となりました。各地開催については来期もオリンピックシーズンと重なることから既に会場確保が困難な状況となっています。

競技人口を増やすことを目的に、Sリーグ開催事前に「新チーム育成プロジェクト&Sリーグ説明会」を開催し、新チームの参戦が叶いました。また、情報発信のツールとしてLINE@の採用や、ホームページのリニューアルにも取り組み、活動の普及に向けて活用しています。様々な方が活動に参加し、助成金に頼らない運営を強化していくために「寄付金の募集」も実施し、多くの方から賛同を頂きまして活動のための寄付を頂きました。

競技性の向上にも目を向けて、審判団の派遣協力、そしてこれまで5人制+女性選手1名の特別ルールで行っていたチーム編成を、5人制フットサルとして試みることもできました。試合の戦略が大きく変わり、実際に当日の試合の様子もこれまでとは大きく変わった良い印象もありましたが、女性選手の参加が難しくなったという声もあり、今後の課題となります。

観戦者や応援者、サポーターにも感動と興奮を共有しやすくするために、試合の間の交流戦の機会を増やし、決勝戦ではコートを1面に作り替えて試合を観戦できるように試みることができ、白熱した試合が繰り広げられました。

来期への課題として、継続して取り組むことが見えてきた貴重なシーズンでした。

大会運営に際して、学生ボランティアや地域の関係者の協力を多くいただいたことにSリーグ運営委員一同、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。【担当 前原】



【Sリーグ2019シーズン結果】

決勝トーナメント

優勝：S.F.C.Socio Tokorozawa

準優勝：FREM.F.C.

第3位：Breezers

敢闘トーナメント

優勝：F.C.ORANGE

試合結果の詳細はホームページをご覧ください。



◆◆浦和レッズハートフルカップ 第12回スマイルサッカー大会◆◆

2019年5月6日に「浦和レッズハートフルカップ第12回スマイルサッカー大会」が開催されました。前年は台風の影響で中止になってしまいましたが、第12回大会は曇ってはいたもののフットサルを楽しむには適した気候のなかで開催することができました。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会様、浦和レッズダイヤモンド様主催の今大会。県内の学校やクラブ等多くのチームが参加され、一同が介した開会式は、とてもインパクトがありました。

サッカー8人制、フットサル5人制Ⅰ、フットサル5人制Ⅱの3部門あるなかで、埼玉県ソーシャルフットボール協会所属のチームはフットサル5人制Ⅱに属

し、参加6チームが2つのチームに分かれて総当たりのリーグ戦。そして2つのリーグ同順位同士による決勝リーグと1チーム計3試合を行い、しのぎを削りました。どの試合も白熱し、見ごたえたっぷりの試合ばかりでしたが、なかでもPK戦にまで発展した3位決定戦のBreezersとS.F.C.SocioTokorozawaの試合はとても印象に残りました。最終結果は優勝FRAM,FC 準優勝F.C.ORENGEとなりました。

青空の下とはいきませんでした、大きな空の下で広々とした芝のフィールドで行う大会はSリーグとはまた違った雰囲気、参加した選手はもちろん同伴・見学参加した私たちも気持ちよくフットサルを楽しめた1日になりました。

【担当 金子】



◆◆さるサポカップ はっとり接骨院×SSFA はっとりフットサル 2019◆◆

平成31年4月29日、西大宮スポーツパークにて「はっとりフットサル2019」を開催しました。2017年から3度目になるスポンサーであるはっとり鍼灸接骨院様とのコラボ企画は、今回2部構成とし、交流イベントを行ったのちに会場を移して、はっ通りの先生方に「精神障害者への理解のための研修」を実施することとしました。

当日は天気にも恵まれ、交流イベントは手繋ぎ鬼ごっこから始まりました。序盤は硬い雰囲気でしたが、次第に笑い声も聞かれ、いつの間にか和やかな雰囲気ですべてをされていました。それから参加者が入り混じってランダムでチームを組み、交流試合を行いました。参加者はまずは自己紹介から始まり、交流戦前にシュート練習やパス回しなど軽い練習をしてから、試合に挑みました。試合が始まると、皆さんの全力ながらも和気あいあいとフットサルを楽しんでいて、あらためて、フットサルは年齢、性別、障害の有無に関わらず一緒に楽しむことができるスポーツだと実感させられました。

今回、このイベントに賛同していただいた明治安田生命様から参加者にサッカーボールが進呈されました。

続いて、会場を最寄りの公民館に移して催した研修会は、はっ通りの先生方の素朴な疑問「精神障がいってどういうものか」、「自分の身近にいる、かわりに苦慮する人にどう対応すればいいのか」といったことに答えていく内容としました。まさに、当会の強みを生かした企画だったと思います。講師には埼玉精神神経センターで働く松浦彰久氏（精神保健福祉士）に「精神科リハビリテーションの理論と実際～輝きを保てる職場づくりへ～」をテーマに講義をお願いしました。松浦氏は、当会設立のときの委員で、快く引き受けてくださいました。講義を聴講した皆さま方からは「このような機会は今までなかったから目から鱗であった」「さっそく、自分の職場で応用してみたい」と大変好評でした。今後も、当会のスポンサー企業の皆さまの期待に応えられるような企画をつくっていきたいと思います。

【担当 小木曾・岡田】



◆◆埼玉県セレクションチーム「埼玉CAMPIONE」◆◆

まず、はじめに「埼玉 CAMPIONE」を応援して下さった皆様、ご支援をして下さった皆様、本当にありがとうございました。

2019年7月13日（土）にエスフォルタアリーナ八王子にて、ソーシャルフットボール全国大会 関東予選 2019 が開催されました。

今シーズンのセレクションチームは6月に始動し、昨年コーチをして下さった固山氏を監督に迎え、選手を中心として練習を積み重ねてきました。また選手である泉選手と渋谷選手を選手兼スタッフとして、また日頃からよく関わり声をかけ、見守って下さっていた佐藤京子氏（選手ご家族）と有賀千亜希氏（ボランティア）をスタッフとして迎えました。

少ない練習期間の中でぶつかり合うこともありましたが、一人一人の力とチームの団結力で、「優勝」を胸に大会に挑みました。

1都4県から8チームが出場した大会当日はチーム一丸となって闘い、「埼玉 CAMPIONE」は準優勝という結果を残しました。優勝することができなかったという悔しい気持ちは残りましたが、6年ぶりに念願だった全国大会への出場をつかみ取ることができました。

〈ソーシャルフットボール全国大会〉

全国大会は2019年9月7日（土）、9月8日（日）に大阪府にある丸善インテックアリーナ大阪で開催されました。関東大会後、全国大会までの約1ヶ月半という少ない期間の中で週1回集まり、さらに練習を重ねてきました。選手それぞれが熱い思いを胸に大会に挑みました。

7日（土）の初戦、四国代表 Vier Grant との試合は6-1にて勝利、2戦目の関西代表 FC ウエノには2-0で勝利することができました。次の試合に勝利することができれば決勝トーナメントに進出することができるというところまでできましたが、8日（土）東海代表エストレージャあいちには0-2で惜しくも敗れ、決勝トーナメントへの進出はできませんでした。

今シーズンは6月から始動し、様々な思いで駆け抜けてきた埼玉 CAMPIONE でした。悔しい結果となりましたが、チーム一丸となり、一人一人が最後まで諦めずに闘ってきた大会となりました。

選手・スタッフだけでなく、多くのサポーター・ご支援いただいた皆さま・各チーム関係者と共に闘った「埼玉 CAMPIONE」です。これもソーシャルフットボールの魅力です。

今後も頑張っていきたいと思いますので、あたたかい応援やご支援、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、「埼玉 CAMPIONE」で活躍をした Breezers の小林良選手が DREAM WORLD CUP 2020(ペルー/10月)に参加するソーシャルフットボール日本代表候補に選ばれました。今シーズンの埼玉 CAMPIONE を支えてくれた選手の一人です。ぜひ、頑張ってきていただきたいと思います。皆様、応援のほどよろしくお願いいたします。【担当 大澤】



◆◆ボランティアをやってみて 赤間未歩さん◆◆

私はゼミの研究で精神疾患を持つ人の社会復帰は何かを知るために大学2年の冬にSリーグのボランティアに参加しました。

当日は試合の得点を記録したり、チーム付きで選手の方たちと一緒にアップをしたり、試合でのサポートをしました。はじめはボランティアとしてどのような役割を果たせばいいかわからず、楽しく参加するだけでした。しかし、参加回数を重ねていくうちに楽しく参加するだけでは足りないと感じ、準備から自発的に動いたり選手の方たちと多くコミュニケーション取ったり、試合でも積極的にチームのサポートをしたりしました。そうすることで、楽しむだけでは感じない一体感を感じることができました。

ボランティアに約2年参加したことで、ボランティアとして参加していることによって選手の方々のパワーになったり、私もそのパワーをもらって活動できていることに気づきました。また、障害があるなしに関わらず自分の力を発揮できる場所があること、その場所に参加できたことを誇りに思います。

(東京国際大学 福祉心理学科 4年 赤間 未歩さん)



◆◆助成金に頼らない運営を行っていくための第一歩～寄付事業について～◆◆

SSFAでは、今後3年間での達成目標の一つとして「観戦者、応援者、サポーター、ボランティアなど、多様な活動関与の仕組みを創り、助成金に頼らない運営を行うこと」を掲げました。ちょうど今シーズン、当会が運営・派遣している埼玉県代表チーム「埼玉 CAMPIONE」が関東大会で準優勝し、全国大会の切符をつかむことができました。このことをきっかけに、普段から応援して下さる皆様に寄付金を募ることにいたしました。

寄付金の用途は、当会が更なる自立した活動が営めるよう、①運営に関する資金と、②全国大会チーム派遣の支援とし、専用の口座を開設しました。活動の普及と併せて、チラシ等で広く周知することにいたしました。

結果として、予想をはるかに超える多くの皆さまからご支援をいただき、総額396,150円という多額の援助をいただくことができました。そのなかには、今回の普及活動で継続的なスポンサーとして手をあげてくださった企業ともつながることができました。あらためまして皆様のご支援に心より感謝を申し上げます。

ここで、全国大会に出場した選手兼チームマネージャーであった泉 達也選手からのコメントも添えさせていただきます。「応援として色々寄付をいただいたり、寄付の情報を発信していただいたりして、

寄付金募集のお願い

Here We Go!

SSFA 埼玉ソーシャルフットボール協会

寄付金の趣意 SAITAMA CAMPIONE

私たちは精神障がい者フットボールの普及を通して、精神障がいの健康増進、生活の質の向上、社会参加の促進を目指すために特定した任意団体です。構成メンバーは、埼玉県内の精神保健医療福祉に関する機関・団体の職員や精神障がいの者、フットボール指導者や地域の様々な方々(ボランティア・サポーター等)です。2008年から活動を始めました。

SSFAの更なる自立した活動と全国大会出場が決定した埼玉代表チーム「埼玉 CAMPIONE」の大会派遣費用として皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付金募集要項

1. 寄付金の用途
 - ①SSFA 運営に関する資金
 - ② 埼玉 CAMPIONE 全国大会チーム派遣の支援
2. 募集期間
 - 募集期間に定めます。継続的に募集活動をおこなってまいります。
3. 申し込み方法
 - 振込方法につきましては、当協会ホームページのブログに詳細を掲載しています。
 - 【振込先(振込手数料はご負担願います)】
 - 埼玉県 さいたま市 川口区 緑通 緑通郵便局
 - 口座番号：6206639
 - 住所または氏名等、必要事項がなければ、必ずご記入ください。

振込方法につきましては、当協会「埼玉キャンピオーネ」ホームページのブログに詳細を掲載しています。
Mail: saitama.campione@gmail.com HP: <https://www.ssfa-saitamacampione.org>

すごく自分たちの助けになり、活動が助かりました。またこういうことがあるかもしれませんが、今後も続けていただきたいです。ありがとうございました。」

〈今回、趣旨にご賛同いただきました皆様のご紹介〉

岡野康之様、高畑隆様、森祐子様、内木千夏様、木川理砂様、清水じゅんこ様、増田好治様、菅美麗様、小林直人様、竹中けいこ様、松野あや様、藤原淳子様、阿部真由美様、山本菜穂子様、石井しんのすけ様、赤畑敦様、鎌田恒一様、中島まり様、松本すみ子様、渋谷隆治様、佐野滝夫様、尾崎克己様、林玲子様、鈴木國弘様、金子諭様、伴野猛様、ひるまこころクリニック様、埼玉県立精神医療センター療養援助部の有志の皆様、埼玉県立精神保健福祉センターの有志の皆様、埼玉県精神保健福祉士協会の有志の皆様、Browse 有志の皆様、山浦ファミリーの皆様、佐藤ファミリーの皆様、野村ファミリーの皆様、大澤ファミリーの皆様、小岩ホルモン仲間の皆様

スポンサー企業：有限会社聖クリーンサービス様 ※漢字が未確認の方はひらがな表記 順不同

〈聖クリーンサービス 代表取締役 増田さま からメッセージ！〉

カンピオーネの存在を知るきっかけは、去年全国大会に参加していた選手のお母様と知り合えた事でした。そのご縁でカンピオーネ様の理念や活動を知り、何か私が出来ることがないかと考えるようになりました。私事ですが、長男と選手は同じ病気で今でも戦っています。

長男は、去年の2月に緊急入院し、お蔭様で7月に退院し通院となりました。

去年の11月16日、庄和体育館で妻と長男の3人で見た彼の後半スタート直後のゴールで何故か目頭が熱くなったことを今でも忘れません、私達にくれた最高のプレゼントでした。賛同とは、私にとって寄付でもなくスポンサーでもない、継続的に応援したいという想い。自己満の世界です(笑) 小さな会社の利益から少しでも社会や地域に貢献がしたいという想いが、今では新たな私の活力にもなっています。

私の出来ることは僅かですが、この感動や想いを様々な人達に伝えることを今後も続けていきたいです。



◆◆ホームページリニューアル&SSFA新ロゴマーク◆◆

今年度よりホームページをリニューアルしました。Sリーグの結果報告、選抜チームの活動、加盟チームの紹介や、ニュースレターの掲載等をホームページで行っております。

活動報告として随時、ブログの更新もしておりますので、是非ご覧になってください。来年度はデザインのリニューアルに加え、チーム紹介ページを充実させ、各チームの様子がよりよく分かるように更新したいと考えています。そして、SSFAの新しいロゴマークができました。ホームページにも使用されています。是非チェックしてみてください。【担当 小木曾】

SSFA 新ロゴマーク
「有限会社ウイングサイン」
様にデザインをしていただきました。



◆◆ソーシャルフットボールを知ってもらうために～普及啓発のとりのくみ◆◆

当協会では、地域で暮らすみなさんへの情報発信も行っています。

今シーズンは、鴻巣北本地域の地域自立支援協議会（地域支援部会）から、「精神障がい者の明るい未来のためにフォーラム」での発表依頼がありました。このフォーラムは毎年精神障がいの普及啓発を目的に行われていて、オリンピック・パラリンピックイヤーとなる 2020 年にちなんで「精神障がいスポーツにスポットを当てたい」とお誘いを受けました

当日（令和 2 年 2 月 13 日（木））は北本市文化センターで行われ、当会からは副代表の鈴木とセレクションチームの選手である佐藤健人さんが登壇し、活動紹介と佐藤選手の体験発表などを報告しました。来場者数は約 460 名で、昨年を上回る人数であったとのこと。参加者からは「精神障がいスポーツに興味をもった、励まされた、知れてよかった」など、好評な意見がたくさんあったと大会主催者から報告がありました。



第 9 回 鴻巣・北本地域
『精神障がい者の明るい未来のために』
フォーラム
自分らしく暮らそう この街で

日時：令和 2 年 2 月 13 日（木）
13:00 開場 13:15 開演
場所：北本市文化センター ホール
※入場無料

内容：
◇「太鼓の演奏」（鴻巣和太鼓会）
◇体験発表
◇「みんなが主役！
～精神障がい者スポーツを知ろう～」
競技の紹介（バレーボール・フットサル）
選手の声・実演 ほか
◇アトラクション
*参加団体による自主製品の販売もあります

< 編集後記 >

2019 シーズンは、運営委員で何度も話し合い、運営方針や目標を決めて運営を行いました。セレクションチームの「埼玉CAMPIONE」が関東大会で準優勝をして、全国大会に出場することができ、埼玉のソーシャルフットボールの活動を全国に発信することができたシーズンだったと感じています。まだまだ、ソーシャルフットボールの理解者や協力者、賛同していただける方たちを広げるところまでには至っておらず、今後の活動もがんばっていこうと思いました。ソーシャルフットボールは、参加している人や協力してくれるみんなで、盛り上げていかなければいけないのだなあ、と改めて思います。みなさん、応援ご協力のほど、宜しくお願いします。【野村】

このニュースレターは、当会ホームページにもアップされています。

<https://www.ssfa-saitamacampione.org/>